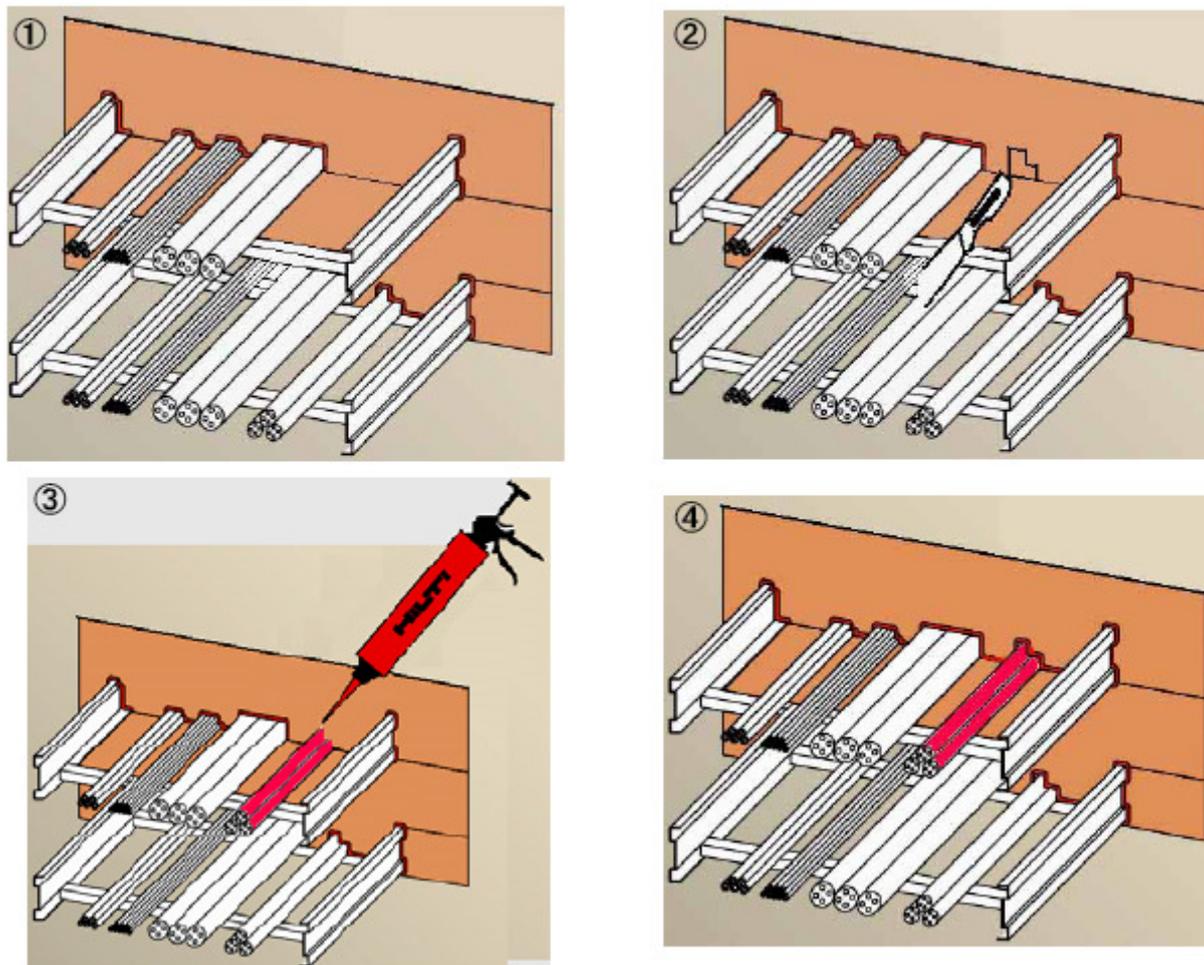


例. 壁工法(充実壁) PS060WL-0193



<施工手順>

- | | |
|-------------------|--|
| ①. 増設箇所確認 | 再通線(増設)箇所を確認する。 |
| ②. セーフティボード加工(切断) | 再通線(増設)箇所のセーフティボードをカッターナイフ等で加工(切断)する。 |
| ③. 再通線(再貫通) | ②で加工(切断)したセーフティボード部分にケーブル等を通線し、固定する。 |
| ④. 隙間処理 | セーフティボードとケーブル等との間の隙間には、セーフティボードのロックウール部を充填し、セーフティシーラント充填用の目地スペースを確保した後、セーフティシーラントを充てんする。さらに、ヘラ又は水で濡らした指などでシーラント表面を平滑に仕上げる。 |

<基準値>

・ケーブル占積率30%以下(中空壁は22%以下)、貫通するケーブル325mm²以下(1本あたり)とする。また、鋼製電線管の場合は75φ以下、合成樹脂製可とう電線管(PF管)の場合は36φ以下とする。